

宮脇 護 健康福祉局長 様

## 新型コロナウイルス感染から市民の命をまもる緊急要望書

2021年8月24日

日本共産党市会議員団 団長 宗田裕之

新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、感染爆発、医療崩壊が深刻になっています。本市は、こうした事態に命を守ることを最優先した対応を即時に行う必要があります。医療提供体制、保健所体制、ウイルス検査体制、ワクチン接種体制についての対応を早急を実施されるよう強く要望します。

### 要望事項

#### <医療提供体制>

1. コロナ対応の医療施設を急ぎ増設する。
  - 日医大病院（武蔵小杉地域8月末閉鎖になる病棟）
  - 公的施設に設置  
（カルッツかわさき、各区スポーツセンター、とどろきアリーナなど）
2. 市内ホテルなどを借り上げ、宿泊療養施設を拡大する
3. 医療施設増設、宿泊療養施設拡大に必要な医療スタッフを医師会、病院協会、看護協会等に協力を依頼し、確保する。そのための財政支援を行う。
4. 自宅療養者を24時間医学的管理でサポートする仕組みを強化する（訪問診療、オンライン診療など）

#### <保健所体制>

1. コールセンターに連絡しても訴えへの返事がいつまで待っても来ない。  
コールセンターと保健所との連携がスムーズに行えるよう、保健所、保健所支所のスタッフを増員する。とくに、コロナ陽性者の症状、療養に関する不安に対応できる保健師などの専門職を増員する。
2. コロナ陽性から療養、治療までのフローチャートを市民にわかりやすく周知する。宿泊療養の手続きなども一本化し、スムーズに療養につなげる。
3. 発表される自宅療養者数、宿泊療養者数の集計が遅れ正確な数値になっていないとのことである、人員を補強し正確な情報提供を行う。  
また、待機している入院調整中、宿泊療養調整中の人数を分けて発表すること。

#### <ウイルス検査体制>

1. 民間検査会社と連携し、駅前などにだれでも気軽に立ち寄れる検査ブースを設け、PCR検査や、抗原検査キットなどによるスクリーニング検査が幅広く実施できるようにする。
2. 市内3か所あったPCR検査センターを再開する。
3. 国の事務連絡を受け、陽性者が出た場合、濃厚接触の可能性のある職場、家族などへの検査は保健所を介さず、医師の判断で行えることを周知し、対応する。
4. 保育士、教職員、わくわくプラザ職員、学童保育職員、介護職員など集団生活に関わる方に定期的なPCR検査を実施する。

#### <ワクチン接種体制>

1. 現役世代がワクチン接種を受けやすいよう、夜間でも接種できる会場を各区を増やす。
2. 集団接種、個別接種の予約可能枠をリアルタイムで案内し、スムーズに予約ができるよう、予約システムを改善する。
3. 保育士、教職員、わくわくプラザ職員、学童保育職員、介護施設職員など集団生活に関わる方を優先接種とする。

以上